

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山市役所等ESCO事業			会計	款	項目	大専	小事
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		主管課	財産活用課			
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課長	石戸 敏久			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市役所本庁舎含む7施設（図書・博物館、福祉会館5つ）	意図	民間の資金とノウハウを活用し、設備等の省エネルギー化改修を行い、室内環境の向上、環境負荷の低減、ならびに光熱水費等の効果的な削減を図る。
事業内容	通常のESCO事業に加えて、フィージビリティスタディを無料省エネ診断等を行うことによりコストを削減し、小規模施設でもESCO事業を可能とするため、改修・更新費の一部をESCOサービス料に上乗せ（小規模補正）している。また、優先交渉権者を簡易プロポーザルで選定後、優先交渉権者と交渉し、事業スキームを詳細検討したうえで正式契約とする形（デザインビルド型）をとっている。			
事業開始から現在までの状況変化	平成25年4月から、市役所本庁舎含む7施設（図書・博物館、福祉会館5館）のサービスが開始した。また、他施設では平成26年4月から生涯学習センター、平成27年4月からケアセンター、平成28年4月からは森の図書館のサービスがそれぞれ開始した。また、平成29年度は流山市コミュニティプラザESCO事業の工事を実施し、平成30年度サービス開始予定である。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	削減検証額（税抜）	42636238	42003528	40722749	円	↑↑↑	
②	CO2削減検証率	26.80	22.70	22.70	%	↑↑↑		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 本事業による光熱水費の削減保証額（税抜）は37,698,479円で、平成29年度の削減検証額（税抜）は40,722,749円と上回っていることから削減が達成された。 また、CO2削減についても前年度と同程度の効果が確認できた。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		56,714,572	56,581,572	56,550,972				
事業費(b)(円)		55,208,572	55,208,572	55,208,572				
うち一般財源		55,208,572	55,208,572	55,208,572				
職員給与と費(c)(円)		1,506,000	1,373,000	1,342,400				
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	サービスが開始され、今後は毎年検証を行っていくのみのため、課題としては特になし。	③取組の課題	サービスが開始され、今後は毎年検証を行っていくのみのため、課題としては特になし。
②今年度(H29)に実施した取組	サービスが開始され、今後は毎年検証を行っていくのみのため、課題としては特になし。	④今後(H30以降)の改善計画	サービスが開始され、今後は毎年検証を行っていくのみのため、課題としては特になし。